議会だより

# SHICHIGAHAMA

宮城県七ヶ浜町議会

169

2026.10.29







特集記事(P2~3)
**議会プレゼンツ 子ども議会を開催**

決算審査特別委員会(P4~8)
**子育てアプリを導入**

議員全員協議会(P21)
**議員定数14人を維持**

# 七ヶ浜町議会プレゼンツ

## 子ども議会プロジェクトチーム 子ども議会

７月２４日、町議会議場で子ども議会を開催しました。町内５校の児童生徒代表が子ども議員として登壇し、日頃感じている素直な疑問や、七ヶ浜の未来に向けた魅力あふれる提言を堂々と発表しました。

子ども議会の最大の目的は、次世代を担う子どもたちが地域社会に関心を持ち、自ら考え行動する「主権者教育」です。子どもたちが声をあげられる環境をつくり、その柔軟な視点や意見をまちづくりや防災・減災に活かすとともに、郷土への誇りと愛着を深めることを目指しています。

### 小学生議員（午前の部）

自分たちの暮らしや身近な学校生活、大好きな七ヶ浜の自然環境に目を向け、はっきりと大きな声で発表してくれました。小学生ならではの柔軟な発想や探究心が感じられる提言が相次ぎ、質問への答えを一生懸命考え、自らの言葉で答弁する姿は実に立派でした。











松ヶ浜小学校 中須賀 心姫 議長









亦楽小学校 佐藤 嘉信 議長

### 中学生議員（午後の部）

人口動態のデータ分析や全校生徒へのアンケート、現地調査などを重ね、本物の議員さながらの論理的で充実した内容の発表が行われました。町が直面する課題に正面から向き合った説得力のある提案が示されました。議員からの踏み込んだ質疑に対してもグループで真剣に話し合い、自分の言葉で堂々と答弁する頼もしい姿が見られました。


汐見小学校 藤田 葵 議長

















向洋中学校 宮崎 颯花 議長

※主権者教育　子どもたちが政治や社会のことに関心を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で選挙などに自らの意思や判断で参加する姿勢を養う教育のこと。

## 季節のイベント



亦楽小学校グループ１

お花見（春）、ながすか公園での夏祭り（夏）、食フェス（秋）、雪合戦大会（冬）を提案

渡邊　　潤さん
髙松　慧瑠さん
原田　悠真さん
風間　晴翔さん
内丸　結稀さん

## 七ヶ浜をよくするために



亦楽小学校グループ２

子どもから高齢者まで参加できるゴミ拾い大会で美化の心を広げる提案

金田　　夕弥さん
鈴木　あかりさん
佐々木ひかりさん
小野寺　心那さん

## 自然環境　七つの海を守ろう



汐見小学校グループ１

割れ窓理論に基づく遊具点検や貝殻・魚の再利用で美しい循環型の街を提案

上野　さくらさん
藤田　　葵さん
石川　　陽さん

## 汐見小の課題　鳩・遊具問題の解決に向けて



汐見小学校グループ２

鳩害対策やアンケートに基づく遊具設置など、快適な学校環境づくりを提案

福岡　莉和菜さん
高橋　　利奈さん
鎌田　　稜太さん
小塚　　侑靖さん
新木　里々菜さん

## 未来につながるまちづくり



松ケ浜小学校グループ１

交通対策や子どもの居場所・複合施設整備で賑わいと防災力を両立する提案

三浦　　晴翔さん
渡辺　　豪さん
鈴木　　美空さん
中須賀　心姫さん

## 人口減少を解決するために



松ケ浜小学校グループ２

公共施設リノベーション避難ビル拡充、防災冊子作成で暮らしやすいまちづくりを提案

片寄　香織さん
長田　　麦さん
岩本　結花さん



向洋中学校



七ヶ浜中学校

## 服のチカラプロジェクト

不要な子ども服の回収ＢＯＸ設置と特典配布で地域循環を創出し、集めた服を町内活用や難民支援に充てる持続可能なまちづくりを提案

高橋　翔蒼さん　　小西　陽貴さん
関　　渚さん　　似内　愛絆さん
尾崎　直斗さん　　山下　莉瑚さん

## 安全で住みやすい七ヶ浜にするために

アンケートに基づき、防犯灯設置などの登下校安全、新駅やバスの利便性向上、カフェなど生活施設拡充の３つの要望を議会へ提案

熱海羽仁唯さん　　伊丹　　新さん
遠藤　大湖さん　　渡邉　奏汰さん
庄子　碧織さん　　中田　圭祐さん



七ヶ浜中学校
伊丹（いたみ）　新（あらた）さん

少し緊張しましたが、自分の意見を実際に発表できたことが楽しかったです。発表に向けて、議員の方からどのような質問をされるのかを予想し、どのように答えるかを事前に考えました。町の安全について考える中で、今まで何気なく通っていた道路にも「ここはもっとこうしたら安全になるのではないか」と考えるようになり、町に対する見方も変わりました。子どもの意見もまちづくりにつながると実感できたので、今回の経験を生かしてこの町をもっと活気ある場所にしていきたいです。



保護者
渡辺（わたなべ）　睦美（むつみ）さん

友人たちと相談しながら学校でしっかり準備できたようで、家での様子はいつも通りでした。普段は積極的なタイプではないのですが、質疑応答の際、グループの代表として率先して発言する姿が見られ、頼もしく感じました。町内３校の６年生の発表を聞いて、それぞれ特色があり、お互いに刺激を受け、交流を持つことができたと思います。子どもたちが思う町の未来のために、大人が今できることは何か、考えさせられる機会にもなりました。

**提言書を提出します！**　詳しくは、議会ＨＰの子ども議会のページをご覧ください。

# 委員会で徹底チェック！

議会では決算審査特別委員会を設置し、７年度に町が行った事業を審査しました。決算審査では、予算が適切に使われたかだけではなく、事業によってどのような成果があったのか、課題は何かを確認し、今後の町政につなげていくための質疑応答が展開されました。町民生活に身近な事業や新たな取り組みを中心に、質疑応答の一部を紹介します。

## 書かない窓口導入事業

決算額 1572万円

**どんな内容？**

申請書の記入や窓口間の移動など、来庁者の負担軽減を図るために導入されるもの。

### 導入準備にかかった費用は？

【問】書かない窓口の導入にかかった費用と、導入する課は。
【答：総務課参事】先進地視察に２６万円、システム導入に１３８４万円、什器購入に１６１万円を支出した。税務課や健康福祉課、子ども未来課、町民生活課の４課で展開し、今後は他課への拡大も検討する。



慣れない方への丁寧な案内が求められる

## カメラ付きLED防犯灯設置事業

決算額 149万円

**どんな内容？**

犯罪の抑止や地域の安全・安心を図るため、町内の交差点などに設置するもの。

### 設置した場所は？

【問】設置場所と選定理由は。また、警察への映像提供など、事件・事故で活用した実績は。
【答：防災対策室長】砂山交差点や菖蒲田浜、君ヶ岡公園周辺など町内６カ所に設置した。犯罪の抑止や交通事故が多い場所などを考慮して選定した。７年度に捜査機関へ映像を提供した実績はなかった。



犯罪から町民を守れるか

※記載されている金額は、全て万単位に合わせて四捨五入しています。

# 7年度決算「使ってどうなった？」



## 公共交通ネットワーク形成事業

決算額 8395万円

**どんな内容？**

町民の移動手段を確保するため「ぐるりんこ」や多賀城東部線を運行し、地域公共交通の維持・充実を図るもの。

### ぐるりんこの利用者は増えた？

【問】ぐるりんこの利用者が増加している要因は。

【答：まちづくり振興課長】学生以外の一般利用者が増えている。外出機会の増加に加え、Ｇｏｏｇｌｅマップやナビタイムなどで運行情報を確認できることも、利用者増につながっていると考えている。利用者は１５万９６１３人で、前年度より７１３６人増加した。



利用者が増えた町民の足「ぐるりんこ」

## 菖蒲田海水浴場海びらき事業

決算額 157万円

**どんな内容？**

菖蒲田海水浴場を開設し、安全で快適な海水浴場の運営と観光振興を図るもの。７年度は４４日間開設し、６万３１４４人が来場した。

### 海水浴場の運営は赤字？

【問】海水浴場運営補てん補助金２２１万円は、どのような不足を補うために交付したのか。

【答：まちづくり振興課長】主に人件費と、事業収入として見込んでいた駐車場収入が想定に届かなかったことによる赤字分を補てんした。海びらき事業には別途７００万円を補助している。



海水浴需要の多様化が進む

# ふるさと納税推進事業

決算額 851万円

**どんな内容？**

ふるさと納税を通じて町を応援する寄付を募り、町の魅力発信や地場産品のＰＲにつなげるもの。７年度の寄付は、１０８０件で、約１７４６万円となった。

## 寄付は増えた？

【問】前年度より寄付額と件数が増加した要因は。

【答：まちづくり振興課長】ポータルサイトを見やすくする工夫や、委託事業者と町内事業者への訪問を行った成果と考えている。一方、加工品が少ないことから、今後も事業者と新たな返礼品の開発を進める。

ふるさと納税のご案内はこちら




七ヶ浜の魅力を返礼品で全国へ

# 子育てアプリ導入事業

決算額 149万円

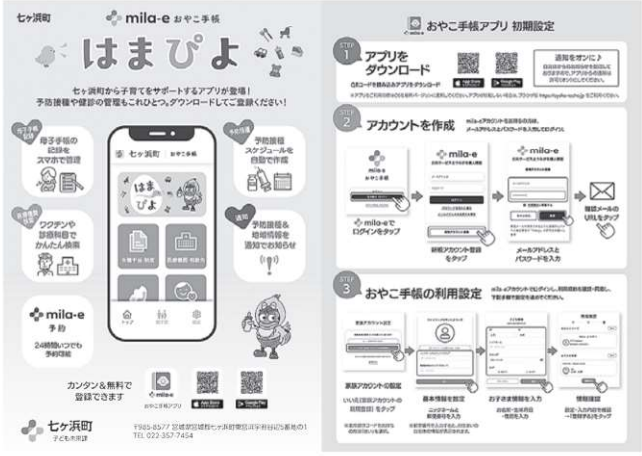
**どんな内容？**

妊婦や子育て世帯の利便性向上を図るため、アプリによる子育て情報の発信やオンライン予約を行うもの。７年度の利用者は４１人、オンライン予約は９件となった。

## 初年度の利用は？

【問】導入初年度の利用状況をどう評価しているか。また、利用目標は設定していたのか。

【答：子ども未来課長】紙で管理したいという声もあり、７年度は紙とアプリの両方で情報提供をした。初年度は利用者数の目標設定よりも、利用者にとって使いやすいかを検証することを重視した。




予防接種や健診の管理もスマホでできます

# 教育用タブレット端末一式共同調達事業

決算額 5650万円

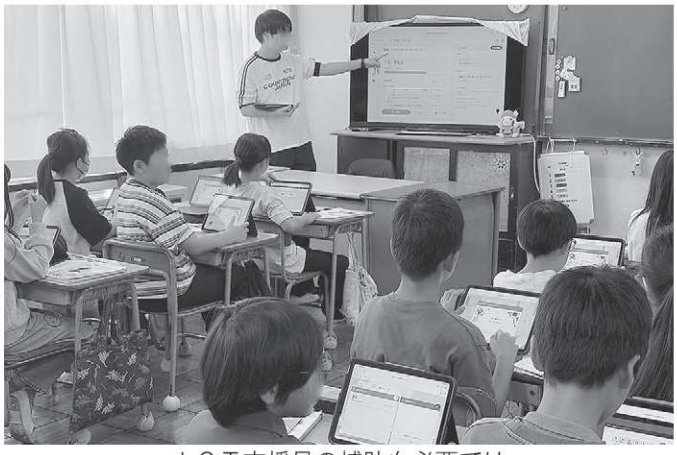
どんな内容？

児童生徒が授業などで使用する学習用端末を更新し、ＩＣＴを活用した学習環境の充実を図るもの。複数の自治体との共同調達により新しい端末を整備した。

## 共同調達の効果は？

【問】共同調達によって町単独での調達と比べ、事務負担は軽減されたのか。また、納入後の不具合は。

【答：教育総務課長】スケールメリットによる価格面の効果に加え、契約事務など町の事務負担も軽減された。納入後の不具合はなかった。端末は２月に納品され、授業での活用は８年度４月からとなった。



ＩＣＴ支援員の補助も必要では

# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

決算額 21万円

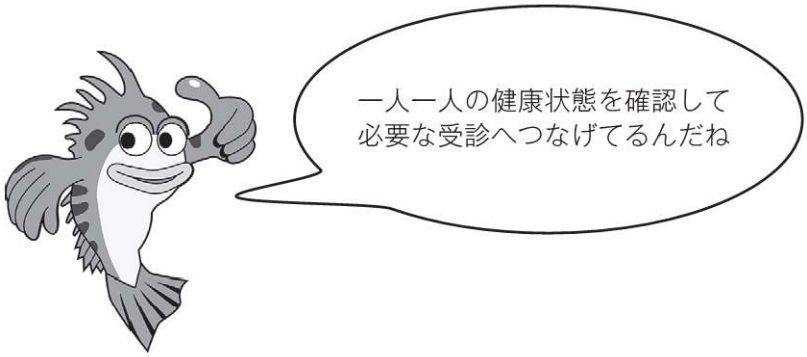
どんな内容？

高齢者の健康状態を把握し、必要に応じて健診や医療につなげるとともに、保健事業と介護予防を一体的に行うもの。

## 健康状態が分からない方への支援は？

【問】健康状態が把握できていない方の抽出方法や、働きかけた結果は。

【答：長寿社会課長】５・６年度の健診未受診や医療機関未受診、介護サービス未利用の方から４６人を抽出した。働きかけた結果、５人が健診、９人が医療機関の受診につながり、３１人は健康状態を確認した。



# 7年度決算討論 その 賛否 なぜ？

## 一般会計

収入 88 億 7257 万円 ／ 支出 83 億 9330 万円 ／ 賛成 10：反対 2

**賛成　仁田　秀和**

財政の健全性を保ちつつ、個別避難計画策定の完了、福祉・教育の充実、交通利便性の向上など各種施策がおおむね適正かつ効果的に執行されたと評価し賛成する。災害対応の運用体制強化や各種事業の検証、円滑な議会審査に向けた資料準備など課題の改善を図り、今後のまちづくりへ活かすことを期待する。

**反対　歌川　渡**

法令等から逸脱した施策や利用者への負担転嫁をしている。サテライト投票所の設置や通学路の防犯・減災対策の強化、健康保健センターの計画見直し、放課後児童クラブの直営化、給食費無償化、学校司書の配置など、適正な予算執行と住民目線の改善を求める。

## 国民健康保険

収入 20 億 7702 万円 ／ 支出 20 億 4216 万円 ／ 賛成 10：反対 2

**賛成　鈴木　博**

繰越金増による基金繰入額減などの適正運営を評価する。未受診者への受診勧奨など医療費適正化と健康増進への取り組みを期待し賛成する。

**反対　歌川　渡**

過大な国保税徴収により、加入者へ負担が押しつけられている。国・県への法定負担率の遵守要求と加入者の税負担軽減を強く求め反対する。

## 介護保険

収入 21 億 7405 万円 ／ 支出 20 億 9901 万円 ／ 賛成 10：反対 2

**賛成　熊谷　明美**

成年後見支援センター設置等の権利擁護や認知症対策、予防教室などの充実を評価する。地域包括ケア推進と重症化予防への期待を込め、賛成する。

**反対　歌川　渡**

制度変更による利用者負担増や要支援者向け給付削減、保険料の引上げが行われているため反対する。低所得者層への減免制度を強く求める。

## 後期高齢者医療

収入　2 億 9859 万円 ／ 支出　2 億 8976 万円 ／ 賛成 10：反対 2

**賛成　佐藤　直美**

高い徴収率の維持や補助金活用を評価する。健診受診率向上への連携強化を求めつつ、高齢者が安心して医療を受けられる適正な運用を期待し賛成する。

**反対　歌川　渡**

窓口負担引上げや保険料増など制度改正により高齢者の経済的負担が増えている。町独自の支援策を講じることを強く求め反対する。

## 水道事業

| | | | |
|---|---|---|---|
| 収益的 | 収入　4 億 9731 万円 | 支出　4 億 5031 万円 | 賛成 10：反対 2 |
| 資本的 | 収支　24 万円 | 支出　9001 万円 | |

**賛成　佐藤　信輝**

基本料金減免と純利益確保を両立した適正経営、老朽管更新や漏水対策など計画的な維持管理を評価する。将来を見据えた効率的運営を求め賛成する。

**反対　歌川　渡**

基本料金免除の延長や受水契約水量の適正化、高コストな受水先の見直しをすべき。余剰資金を活用した水道料金の引下げと経費削減を求め反対する。

## 公園墓地事業

収入　1327 万円 ／ 支出　1286 万円 ／ 全員賛成

## 下水道事業

| | | | |
|---|---|---|---|
| 収益的 | 収入　5 億 7919 万円 | 支出　5 億 4712 万円 | 全員賛成 |
| 資本的 | 収支　2 億 4524 万円 | 支出　3 億 7934 万円 | |

## 監査の意見

**代表監査委員　稲妻（いなずま）　敏行（としゆき）　さん**



決算の係数は正確であり、予算執行は、おおむね適正かつ効率的に行われており、健全な財政運営が維持されていると認められる。

今後の財政運営では、収入未済額や不納欠損額の縮減に向け、早期の相談対応を含めた公平・公正な徴収を継続することが重要である。また、既存施設の長寿命化や廃止・統合を含めた計画的な維持管理を行い、事務事業の費用対効果を十分考慮されたい。さらに、一般会計から国民健康保険事業特別会計への基準外繰出しについては、早急な是正を求める。

社会情勢の変化の中、最少経費で最大効果を挙げる職員の創意工夫のもと、町民に寄り添った「心かよう健幸のまちづくり」の推進を期待する。

# 9月会議

# 県宿泊税の交付金を観光ガイドの更新に

9月会議を9月1日から14日まで開催しました。8年度一般会計補正予算（第3号）は、2億2420万円を追加し、総額を82億6542万円としました。また、議員提出議案や請願などを審議しました。

## ■一般会計の主な補正予算項目

歳入（収入）

| 項目 | 補正額 | 理由 |
|---|---|---|
| 前年度からの繰越金 | ２億６９０５万円 | ７年度の決算額が確定したため追加 |
| 財政調整基金からの繰入金 | △５９７１万円 | 繰越金などの財源が見込めるため、当初予定した基金からの繰入額を減額 |
| 教育費県補助金 | ２６７万円 | 教育業務支援員の配置や学び支援教室の財源 |
| 市町村宿泊税交付金 | ７０万円 | 観光ガイドブック更新費用の財源の一部 |

歳出（支出）

| 項目 | 補正額 | 理由 |
|---|---|---|
| 財政調整基金への積み立て | １億３４５３万円 | ７年度の決算余剰金の一部を積み立て |
| 国・県への返還金 | ５４１０万円 | 前年度の交付金などを実績に基づき精算 |
| 野外活動センターの給水管引き直し | ４４８万円 | 漏水が判明した給水管の工事 |
| 観光ガイドブックの印刷・更新 | ２９０万円 | 現行版の印刷４０万円、更新版と英語版の作成２５０万円 |
| 大木囲貝塚の旧屋外トイレ撤去など | ２５１万円 | 新しい屋外トイレの設置に伴い、従来のトイレを撤去 |
| 学校給食センターの修繕 | ９６万円 | 冷凍庫やコンテナ洗浄機、冷蔵庫、空調機などの修繕 |

## 質疑

**●市町村宿泊税交付金**

**問** 今後どのように活用するのか。

**答** **まちづくり振興課長** 新たな観光振興事業に充てることが条件で、既存の観光施設の維持には使えない。今回は観光ガイドブックの更新や英語版の作成に活用する。今後も新たな事業があれば、交付金を充てていく。

**●観光ガイドブックの印刷更新**

**問** 現行のガイドブックを印刷する際、掲載情報の修正はしないのか。

**答** 基本的には同じ内容を印刷する考えだが、印刷の段階で工夫できないか、観光協会や印刷業者と検討する。

**●国・県への返還金**

**問** 何を精算するものか。補正により返還額を減らせないか。

**答** **企画財政課長** 障害者自立支援給付費や子どものための教育・保育給付など、前年度に受けた交付金と実績額との差額を返還する。各課には補正の都度、事業費や交付金の整理を求めている。ただし、後から追加交付を受けられないものもあり、必要な財源を確保するため、事業費を多めに見込んで申請する場合がある。




紙面では伝えきれない七ヶ浜の魅力をWebでも！「はまぐるり」Web版はこちら

海、食、歴史、アクティビティ七ヶ浜の魅力を一冊に

# 選択的夫婦別姓制度の法制化を国へ求める

議案審議

## 議員提出議案

●選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

【内容】
旧姓の通称使用の法制化では、根本的な問題の解消につながらないとして、選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を提出するもの。

【提出までの経緯】
総務産業常任委員会に付託。8月17日に参考人の説明を受けて審査した。

【委員会の判断】
希望する夫婦が婚姻前の姓を使える選択肢を設けることや、婚姻時の氏の変更に伴う負担などを踏まえ、採択すべきものとした。

【本会議の討論】
賛成・反対ともになし

【結果】
異議なく採択。その後、制度の法制化を国に求める意見書案も異議なく可決。

## 請願

●国保への定率国庫負担の増額を求める請願

6月会議で教育民生常任委員会に付託。8月7日に参考人の説明を受けて審査した。

【委員会の判断】
国保加入者の負担軽減という趣旨は理解できるが、定率国庫負担の増額だけを求めるのではなく、財源や制度全体のあり方も検討すべきとして、不採択とすべきものとした。

【本会議の討論】

賛成 鈴木 恵子
加入者の負担を軽くするよう国に求めるべき

反対 仁田 秀和
公費負担全体や制度の持続可能性を含めて検討すべき

【結果】
採択に賛成した議員は少数で不採択

●子ども・子育て支援金による保険料負担を巡る請願

6月会議で教育民生常任委員会に付託。8月7日に参考人の説明を受けて審査した。

【委員会の判断】
子育て支援の重要性は認めるが、制度全体の財源や負担の公平性、求める財政支援の内容を十分に検討する必要があるとして、不採択とすべきものとした。

【本会議の討論】

賛成 鈴木 恵子
具体的な財政措置を国に求めるべき

反対 仁田 秀和
現時点で新たな財政支援措置を求めることには慎重であるべき

【結果】
採択に賛成した議員は少数で不採択

●消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬などの追加負担を行わないよう求める請願

6月会議で教育民生常任委員会に付託。8月7日に参考人の説明を受けて審査した。

【委員会の判断】
薬を必要とする患者への影響には配慮が必要としながら、医療保険制度の持続可能性や、患者への配慮措置の検討を踏まえるべきとして、不採択とすべきものとした。

【本会議の討論】

賛成 鈴木 恵子
安心して医療を受けられるよう追加負担を行わないべき

反対 仁田 秀和
追加負担を一律に行わないよう求めることには賛同できない

【結果】
採択に賛成した議員は少数で不採択

●非核三原則の厳守を求める意見書提出の請願

6月会議で総務産業常任委員会に付託。8月17日に参考人の説明を受けて審査した。

【委員会の判断】
核兵器のない世界と非核三原則の重要性には共感する一方、政府が三原則を堅持すると説明している現時点では、町議会から意見書を提出する必要性を慎重に判断すべきとして、不採択とすべきものとした。

【本会議の討論】

賛成 歌川 渡
将来の見直しが懸念されることから三原則の厳守を国に求めるべき

反対 仁田 秀和
非核三原則や核兵器廃絶の重要性は共有するが現時点で改めて提出する必要性は認められない

【結果】
採択に賛成した議員は少数で不採択

# 7月会議

# 教育環境の向上と計画的な施設更新へ

7月会議を7月28日に開催し、工事請負契約のほか8年度一般会計補正予算（第2号）などを審議しました。

## 人事

任期満了に伴い、議会の同意を得て再任されました。

◆教育委員
渡邉（わたなべ）　裕子（ゆうこ）さん



任期　8年10月1日から4年間

◆固定資産評価審査委員
前木（まえき）　幸悦（こうえつ）さん



任期　8年10月1日から3年間

## 水道事業

**●7年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び減債積立金の目的外使用**

■内容
7年度の決算で生じた未処分利益剰余金7700万円のうち5000万円を、今後の水道施設の更新や改良に充てるため、建設改良積立金に積み立てるもの。

**討論**

**反対　歌川　渡**
後年の上水道の入れ替え、敷設に係る財源費用を現在の町民が負担すべきではない。

**賛成　仁田　秀和**
利益剰余金の処分は、今後の施設更新等に備える財源確保として妥当である。目的外使用も将来の更新需要を踏まえた内部留保の有効活用するための措置である。

採決の結果
賛成多数で可決

## 契約

**●工事請負契約**

■内容
8年度小中学校施設等照明設備LED化事業における調査設計施工を、一括で契約するもの。

●契約方法
随意契約（公募型プロポーザル方式）

●契約金額
2億37万円

●契約の相手
大和リース株式会社
仙台支社

●工期
令和9年3月19日

●対象施設
小・中学校および学校給食センターの427台の照明設備

**質疑**

**問**　応募が1者のみとなった要因は。

**答**　**教育総務課長**　募集要項に基づき、広く募集をかけたが、結果的に1者になった。公平性の部分は1者であっても審査要領の中で基準点に満たない場合は、優先交渉権者としては認めないというなかで審査し、基準はクリアしている。

**問**　契約締結に至るまでの経緯は。また、落札率が100％となった理由は。

**答**　**企画財政課長**　優先交渉権者の決定後に仕様の確定のため協議し、随意契約により仮契約を締結している。100％の理由として、事業費の上限額は、募集時点で公表している。その後、仕様の変更に伴い再度予定価格を設定したことによるものである。

**討論**

**反対　歌川　渡**
議会への説明が不十分であり、事業資料も理解できない。十分な説明と理解を得てからの再提出を求める。

**賛成　鈴木　洋市**
契約手続きの適正性に加え、事業内容や事業手法の妥当性も確認できる。教育環境の向上や環境負荷および将来的な財政負担の軽減にも資すると判断する。

採決の結果
賛成多数で可決

## 補正予算

**●上水道基本料金減免**

■内容
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、上水道基本料金1カ月分を減免するもの。

**質疑**

**問**　本事業が物価高騰対策として最も効果的であると判断した理由は。

**答**　**企画財政課長**　迅速に対応ができるということと、町民と町内の事業所に対し、幅広い支援ができるためである。

# 一般質問 町政を問う

## 9月会議では8人が質問！！！



議員は、町が行う取り組み内容や問題に関し、幅広く質問することができます。これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。一般質問は、町民の皆さんの声を届け、議員と町当局が話し合う貴重な機会です。

### 一問一答方式

質問者の一つの質問に対して答弁者が一つずつ答弁をするキャッチボール方式。

### 事前通告



質問内容は事前通告書として提出。事前通告とは、一般質問する項目を町当局に対してあらかじめ伝えておくための制度。

### 一般質問の全容

定例会等会議録

議会だよりに掲載しているものは一部分になります。全部の内容は、数ヵ月後、ホームページに掲載されます。上の二次元コードからご覧になれます。

### 一人当たりの質問時間

議員の一人の質問時間が合計で30分まで。
（町当局の答弁時間は含まず）





**仁田 秀和** …13ページ
- ●水産業の新たな可能性は　産業振興
- ●環境を考えるきっかけを　環境保全

**熊谷 明美** …14ページ
- ●健康増進の具体的な取り組みを　健康増進
- ●がんになっても社会で活躍できる支援を　健康福祉

**歌川　渡** …15ページ
- ●汐見小北校舎トイレを全て洋式に　公共施設
- ●資源物ヤード施設の規制強化を　環境衛生
- ●水道基本料金の免除期間の延長を　暮らし

**鈴木 恵子** …16ページ
- ●小中学校体育館にエアコンを　教育環境
- ●七ヶ浜横断線に防犯灯の新設を　防犯対策

**佐藤 信輝** …17ページ
- ●スケートボードで地域活性化を　スポーツ振興

**鈴木　篤** …18ページ
- ●本町のインクルーシブ教育は　教育

**鈴木 洋市** …19ページ
- ●交通ビジョンの策定を　交通インフラ
- ●防災士資格取得に補助制度を　防災対策
- ●計画的な避難所機能強化を　防災対策

**遠藤 喜二** …20ページ
- ●表浜から鼻節神社への散策道は　観光
- ●震災時の堆積物撤去を　防災対策



# 水産業の新たな可能性は

## 町長『育てる漁業』を幅広く振興

仁田 秀和（にった ひでかず）

**問** トリガイ養殖事業の最終的な到達目標は。

**答** **町長** 漁業者が主体となって生産・販売に取り組み、持続的な収入源として定着させることを目標としている。漁業者の意向や作業負担などを見ながら、段階的な体制を構築していく。

**問** 漁業者が事業として判断するには、採算性や必要な設備など具体的な材料が必要では。

**答** 市場単価を基に必要な生産量を試算し、若手漁業者と協議を進めている。種苗の安定確保が見込めれば、新たな施設整備も協議する。

**問** 安全が確認されても、重油流出事故によって生じた損害は別問題である。海上保安庁に適正な賠償と真摯な対応を求めるべきでは。

**答** 事故原因の究明や再発防止、被害への迅速な対応と補償を求めてきた。今後もしっかりとした対応を求めていく。

**問** 今回の事故を教訓に、同様の事故への備えをどう強化するのか。

**答** 関係機関との連携を深め、情報共有や対応手順を整備し、リスク低減に取り組む。

**問** 海面養殖だけでなく、陸上養殖の可能性を探り、事業性が見込めれば町の支援や投資も検討すべきでは。

**答** 自然採集だけでなく「育てる漁業」を幅広く振興し、年間を通じて漁業収入につながる方策を町として考え、支援していく。陸上養殖も県内外の事例を調べ、本町の規模で可能か情報収集していく。

**問** 町内飲食店等と連携し、トリガイを「七ヶ浜ブランド」として育ててはは。

**答** 生産量を拡大し、まず町内の事業所や飲食店などで使ってもらい、町民に食べてもらえるよう、漁業者と進めていく。

# 環境を考えるきっかけを

## 町長 アースアワーを調査する

**問** 地球温暖化対策実行計画の進捗や成果を、町民にも分かりやすく「見える化」すべきでは。

**答** **町長** 区域施策編の指標の進捗は毎年度公表する予定であり、町民に分かりやすく伝わるよう工夫していく。

**問** 計画の周知だけでなく、町民や事業者の実際の行動につなげる取り組みが必要では。

**答** 行動変容につなげることが重要である。イベント会場での普及啓発なども検討しており、国・県や、先行自治体の事例を調査し、効果的な方法を検討している。

**問** そのきっかけとして、安全面等に配慮しながら公共施設の一部消灯や町民・事業者への呼びかけなどを行い、アースアワーに参加しては。

**答** アースアワーは素晴らしい活動だと思う。防犯面などに配慮し、どこまで消灯できるかを調べたい。また、国際村から「平和の光」を発信する取り組みも考えており、これらを含めて調査し、改めて提案したい。

**問** ブルーフラッグや海などの地域資源を生かした体験型環境学習をさらに充実しては。

**答** **教育長** 地域との共同学習をこれまで以上に深め、子どもたちの実践を基盤として継続的に広げていきたい。



本町らしい新たな環境アクションに期待

**ひとロメモ**

**「アースアワー」**

毎年3月に、世界各地で現地時間の午後8時30分から1時間、照明を消し、地球温暖化や自然環境を考えるきっかけとする取り組み。

# 健康増進の具体的な取り組みを

## 町長 普段着の健康づくりを進めている



熊谷（くまがい）明美（あけみ）

**問** 三大疾病や生活習慣病にかかる町民が、男女ともに県内上位を占めている。この状況を脱却するために、健康増進への具体的な取り組みが必要と考えるが。

**答** **町長** 肥満やメタボリックシンドロームなどを含め、改善すべき重要な健康課題と認識している。特定健診の受診率向上や未受診者への受診勧奨に取り組んでいる。また、できることから無理なく継続できる、普段着の健康づくり事業にも取り組んでいる。

**問** 本町の国民健康保険料（税）は年々増えており、町民への負担が大きくなっている。保険料の上昇を抑えるためにも、早期発見、早期治療が有効である。町民が健診結果を重要と捉え、治療するきっかけ作りが必要ではないか。

**答** **健康福祉課長** 「高血圧ゼロのまち」を掲げ、血圧を測ることで気づきを得たり、ナトカリで塩分が体に与える影響を周知している。

**問** 「健幸」な町をめざすには、町民や地域、関係機関等との連携が大事である。健康づくりのきっかけとして、健康ポイント事業やパーソナルヘルスコード等の活用が必要ではないか。

**答** **町長** 健康ポイント事業は、導入運用経費や事務負担、参加者の偏り等の課題があり、導入は考えていない。パーソナルヘルスコードは国や県、他の自治体の動向を注視したい。

**問** 国内の慢性閉塞性肺疾患の治療患者数は、約38万2000人と推計されている。最大の原因は長期間の喫煙および受動喫煙である。対策は。

**答** 慢性の呼吸器疾患で、規定による予防や早期受診が重要と認識している。7年度からは、県との取り組みで得られたノウハウを住民健診時での声がけや保健指導、心臓外科医による講演会などに取り組んでいる。

**問** 女性の喫煙率を見ると県内ワースト2位である。妊娠期や子育て期の喫煙は、胎児や乳幼児の健康に大きく影響を与える。どのように指導を行っているのか。

**答** **子ども未来課長** 母子健康手帳交付時や各種健診の際に、乳幼児に与える影響を具体的に示して危険性を周知している。

**問** 小学生の肥満傾向児の出現率は男女共、県平均を上回っている。肥満傾向児や児童生徒の生活習慣病予備群改善のために、どのような取り組みをしているのか。

**答** **教育長** 学校給食を通した食育や健康教育、体育運動活動等を通じて、児童が望ましい食生活や運動習慣を身に付けるための取り組みを行っている。また、健康診断等で指摘があった児童生徒に対しては、個別に保護者へ知らせている他、児童の健康状態や生活習慣に関して考える機会を設けている。

# がんになっても社会で活躍できる支援を

## 町長 制度の動向を注視したい

**問** がん検診の普及や新薬の開発が進み、がんになっても就労や社会活躍が可能になってきている。がんと診断されたAYA世代（15歳～39歳）は、介護保険は使えない。中には「若年がん患者在宅ターミナルケア支援事業」の対象となるが、要件が厳しい。多くの若年がん患者が支援を受けられるように、要件を緩和する考えはないか。

**答** **町長** 現行支援制度を基本としつつ、当事者や家族の声に耳を傾けながら、国や県の制度の動向を注視したい。

**問** がんにより、アピアランス（外見）の変化に悩む人がいる。エピテーゼを対象に助成する考えはないか。

**答** **健康福祉課長** 現行の助成制度を基本としており、現時点では考えていない。



日頃から血圧チェックを



歌川（うたがわ）　渡（わたる）

# 汐見小北校舎トイレを全て洋式に

## 教育長　優先して改修を検討している

**問** 北校舎トイレの現況に関して教職員間で改修の意見はあるのか。

**答** **教育長**　改修の具体的な意見は出されていない。

**問** 前回の質問後、保護者及び児童から聞き取りは実施したのか。

**答** 聞き取りは行っていない。

**問** 前回「施設整備計画や財政状況等で、優先順を整理し、改修の実現に向けて検討を始めていきたい」と答弁していた。施設整備計画および財政状況等の説明を。

**答** 検討を継続していきたい。

**問** 内閣府男女共同参画局の「女性用トイレにおける行列問題の改善に向けた取り組み」の取り組みは。

**答** 学校施設を対象としたものではないが、改修の際は規模や便器数が必要と認識している。

**問** 早急に改修する考えはないか。

**答** 優先して改修の内容を検討している。

# 資源物ヤード施設の規制強化を

## 町長　関係機関と連携し、指導をしていく

**問** 遠山5丁目地内で使用済み金属・プラスチック等物品の回収・保管・再生をおこなっている事業所（資源物ヤード）の火災事故の原因は。

**答** **町長**　全て原因不明となっている。

**問** 事業所にどのような行政指導を行ってきたのか。

**答** 火災予防、環境保全対策を文書で指導している。

**問** 町内や地区内からの苦情、要望等はどのような内容か。

**答** 異臭やトラックの安全走行に関するものである。

**問** 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の一部改正で、新たに規制対象となる事項は。

**答** 有価物（使用済み金属、プラスチック物品等）も対象となる。

**問** 町はこのような業種が町内で稼働した場合の問題点をどう捉えているのか。

**答** 騒音、粉じん、火災発生等により住民生活の支障・不安が生じる可能性がある。



毎日使うものだから助かります

# 水道基本料金の免除期間の延長を

## 町長　免除延長の考えはない

**問** 令和7年度から水道料基本料金減免事業が行われたが、消費者物価指数令和2年を100の基準で7年1月11・2、8年6月113・6の伸び率を見れば、物価高騰に対応した軽減策として、基本料金の免除月の追加延長をするべきではないか。

**答** **町長**　町単独事業では財政負担の観点から実施困難である。

**問** 財政調整基金の取り崩しで、基本料金の減免の実施の考えは。

**答** 取り崩しで、減免の考えはない。

**問** 一般会計予備費の充用で、基本料金の減免の実施の考えは。

**答** 不測の事態の備えのため、考えはない。



# 小中学校体育館にエアコンを

## 教育長 現時点で設置計画はない

鈴木恵子（すずきけいこ）

**問** 東日本大震災の町内小中学校への避難者数の推移と現在の避難計画における避難想定数は。

**答** **町長** 小中学校への避難者は3月14日の3030人が最大となっている。

**答** **防災対策室長** 現在の避難計画では、小中学校への避難者は8100人を想定している。

**問** 県内の小中学校体育館のエアコン設置状況は。

**答** **教育長** 文部科学省の資料で、調査時点8年5月1日現在で、小学校では、全国32・3%に対し、県は8・5%。中学校は全国34・3%に対し、県は15・8%と低い状況にある。

**問** 今年の5月1日、県の小中学校体育館冷房空調設備の設置状況で、町は2ヶ所設置と報告されているがどこか。

**答** **教育総務課長** 向洋中の武道館と体育館にスポットクーラーを設置している。

**問** スポットクーラーは避難所指定校の空調冷房設備としては十分か。

**答** 施設全体を冷やすところまではいっていない。

**問** 小中学校体育館にエアコン設置の計画は。

**答** **教育長** 現時点では設置の計画はない。新たな修繕計画に基づき、見通しを立てる。

**問** 熊本地震では、冷房設備のない小中学校を避難所として開設しなかった自治体がある。本町も開設しないのか。

**答** **町長** 災害時には冷房が設置された教室を避難所として活用するよう、文科省から全国の教育委員会に通知が出されている。本町でも教室を利用して対応する。



これでは補えない

# 七ヶ浜横断線に防犯灯の新設を

## 町長 歩道が狭く新設は難しい

**問** 通学路合同点検箇所No.15（旧デイリーヤマザキから大政産業に下る町路）、No.43（大政産業から菖蒲田海水浴場に向かう町道）の防犯灯はそれぞれ何基か。

**答** **町長** No.15は9基、No.43は18基を設置している。

**問** 点灯時間はどのようになっているか。

**答** **防災対策室長** 時間ではなくセンサーにより点灯・消灯する。

**問** No.15の危険理由は「見通しが悪い」だが、学校での注意喚起の内容は。

**答** **教育長** 小学校では、放課後は学校等で遊ばずにまっすぐ帰宅すること、中学校では、見通しの悪い道路や暗い時間帯の登下校は、周囲に注意をしながら歩くことなどを指導している。

**問** 防犯灯の周囲に草木が生い茂り、路面や歩道に明かりが届いていない。この状況をどう評価するか。

**答** 本来であれば伐採できればと考えるが、予算の関係上、周りだけを伐採している。今後、根本的な対応を検討する。

**問** No.43の危険理由「防犯灯が少なく暗い」に対して取り組みは。

**答** **町長** 設置可能な電柱に防犯灯を設置したことで、暗さが解消できた。一基置きに角度を変え、さらには照度の高い器具に変更して、歩道側を照らす工夫を施し歩行者の安全確保してきた。

**問** 七ヶ浜町横断線の歩道側に防犯灯を設置する考えは。

**答** 新設は、歩道が狭くなるなどの理由により難しい。

**問** 今年の子ども議会で七ヶ浜中学校のアンケート調査で4割の生徒が下校中に危険を感じている。歩道の明るさを確保するための対策が必要では。

**答** **防災対策室長** 対策を検証する。



安心できる明るさに



# スケートボードで地域活性化を

## 町長 財源確保を前提に今後を検討

佐藤信輝（さとう のぶてる）



**問** 現在のスケートボード場の利用状況と成果、課題をどう評価しているか。

**答** **教育長** 月平均で約100人が利用している。冬季は利用が少なくなるものの、年間を通して利用され、若者を中心とした施設として定着していると考えている。

**問** 現在の施設をセクションの追加や見直しにより、初心者や子ども、経験者がより楽しめる施設にしては。

**答** **生涯学習課長** 現在の施設は、初心者が気軽に始められる「入口」として機能している。一方、上達すると物足りなくなることも認識している。利用者のレベルに応じた施設整備は、今後、慎重に検討したい。

また、利用者にしか分からない滑走感覚などもあるため、改修などを行う際には、利用者から意見を聞く必要がある。



初心者が中心に利用するスケートボード場

**問** 以前はローラースケート場だった設備を、なぜスケートボード場として整備したのか。

**答** ローラースケート場は当初利用が多かったが、次第に利用者が減少した。スポーツにも流行り廃りがあることを踏まえ、スケートボード場として整備した。

**問** 利用時間を季節に応じて見直す考えは。

**答** 通常は午前9時から午後5時までだが、7月中旬から8月は午後6時までとしている。

また、冬季は午後4時までとするなど、季節に応じて利用時間を調整している。

**問** 第2スケートボード場を計画した経緯と目的、事業費が大きくなった要因は。

**答** **教育長** 老朽化した相撲場を解体した跡地を活用し、スポーツ振興くじ交付金を活用した施設整備を検討したものである。現在の施設が初心者向けであることから、跡地の高低差を生かした中級者向けのコースを整備し、利用者の拡大を目指した。工事費の高騰などにより事業費が大きくなり、現在は保留としている。

**問** 相撲場跡地の地形を生かし、ボウルなどを整備する計画なのか。

**答** **生涯学習課長** 跡地は中心部が平らで周囲に高低差がある。R状の形状や障害物などを組み合わせ、現在計画しているコースの形にする考えである。

**問** ボウルなど施設の核となる部分を残し、セクションや付属施設などを見直して、事業費を抑える考えは。

**答** コースを工夫するほど工事費は高くなる。耐久性を考慮した施工なども積み重なり、高額になったと認識している。今後、見直しを行う場合には、専門的な知識を持つ人や、利用者の意見を聞き、残すべき部分を選定することも必要と考えている。

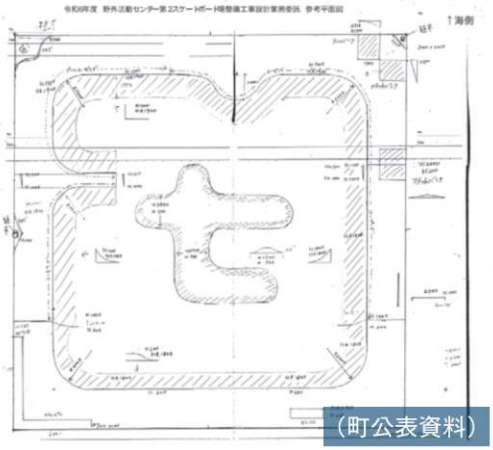
**問** 施設を一度に整備するのではなく、段階的に整備する考えは。

**答** 段階的な整備も検討したが、補助金が十分に見込めず、町の負担軽減につながらないことから、現時点では考えていない。

**問** スケートボードをサーフィンやキャンプなど、七ヶ浜の地域資源と組み合わせ、町外から人を呼び込むきっかけとして活用しては。

**答** **町長** 第2スケートボード場は、現在の初心者向け施設だけでは物足りないという思いから計画した。一方、建設費が高額となり、完成後の維持管理費も必要となることから、現在は保留としている。

近隣の多賀城市に大規模な施設が整備されたことも踏まえ、施設ごとの役割や利用者の動向を見ながら、補助金などの財源確保も含めて今後を検討していく考えである。




（町公表資料）

第2スケートボード場の参考平面図

# 本町のインクルーシブ教育は
## 教育長 力強く進めていきたい



鈴木（すずき） 篤（あつし）

**問** 実際に障がいをもった児童の保護者から、「町内の保育施設すべてに入園を断られて、悔しい思いをした」との相談があったが。

**答** **子ども未来課長** 保健師が保護者の意向を確認した上で、町外の施設も含め、通える園を一緒に探すなどのフォローをしている。

**問** 児童と保護者が町内の施設を希望していたにも関わらず、障がいがあることで入園できなかったという事実は大問題だと思うが。

**答** 決して、障がいがあるから受け入れないということではない。入念な話し合いは持つが、保育園では、安全性が最優先のため、受け入れが難しい状況もある。

**問** 補助金を出すなど予算を割いてでも、町を挙げて協力体制を構築すべきでは。

**答** **教育長** 予算や施設側のコストの問題だけでなく、安全性の問題もある。命に関わるようなケースもあり、法で定められている合意的配慮の例外として認められている。そこは理解していただきたい。

**問** 極端な表現かも知れないが、リスクがゼロになることはないと思う。だからこそ、小中学校でも支援員を加配するなどして、現場が安心して受け入れられるようフォローが必要なのでは。

**答** 個人的な考えにはなるが、足りないということは一切なく、町には大変良くしていただいていると感じている。また、今年度から支援員を民間に委託しており、軌道に乗れば、さらに良くなると考える。



みんなでつくる、誰もが生き生きと学べる学校

**問** 今の答弁と周囲から聞いている話の間にかなりギャップがあるように感じる。管理者だけが十分だと考えていて、現場の教職員が困っているというようなことはないか。現場にしわ寄せがいくようなことはあってはならないと思うが。

**答** 私もあってはならないことだと考えている。そのために、校長など管理職が現場の中に入っていって、自分の目で確かめる体制を構築しているところである。

**問** 海外にルーツを持つ児童や保護者は、言葉の問題もあり、なかなか相談がしにくい。学校側からの積極的なフォローが必要だと思うが、具体的な事案等はあるか。

**答** 密にコミュニケーションを取ることが肝要だと考える。生徒と担任の間に管理職や日本語指導の先生が入ることで上手くいったケースがあった。また、受験の際に日本語が上手く話せないことで問題になったことがあったが、高校の校長と話し合いを持ち、解決できたケースもあった。

**問** そういったケースがあった場合、情報が教育総務課に集約され、町全体に共有されるべきだが、そういった仕組みはあるのか。

**答** 管理職並びに教務主任、主幹教諭あたりまでしか共有できていないのが現状である。

**問** 教育の現場では教職員個人の知見に頼るケースが多い。新しく赴任される教職員のためにも、町の知的財産として集約すべきでは。

**答** 指摘の通りである。今後は集約する形で進めていきたい。

**問** 英検補助、プリマスとの交流事業といった取り組みは町外からの評価も高い。だからこそ、インクルーシブ教育にも力を入れれば、七ヶ浜の価値がさらに高まると考える。意気込みは。

**答** 七ヶ浜ブランドの大きな一つだと自覚している。

また、来年度の7月からは、町内の中学校も英語特区ということで進めていく段取りで県の方に提出している。今後も力強く進めていきたい。



# 交通ビジョンの策定を

## 町長 継続的に研究・検討する

鈴木洋市（すずきよういち）

**問** 将来の交通インフラをどう考えているか。

**答** **町長** 日常生活や経済を支える重要な社会インフラである。人口減少や少子高齢化などに対応し、誰もが移動しやすい環境作りを目指し、道路整備や公共交通の充実を一体的に進める。

**問** 多賀城市方面への第2アクセス道路の構想は。

**答** 災害時の孤立防止やリスク分散の観点から重要な課題と認識している。現時点で新たなバイパス整備の予定はないが、県道の拡幅等を県に引き続き要望する。

**問** 町民バスの夜間便や通学・通勤対策は。

**答** 増便やダイヤ見直しを求める声が多く、特に通勤・通学時間帯や駅からの最終便の充実が望まれている。利用実態や財政状況を踏まえ、増便等を慎重に検討する。

**問** 鉄道延伸やBRTなどを検討する考えは。

**答** 鉄道駅への需要や接続強化を望む声が多く、重要な課題と認識している。まず既存公共交通の利便性向上を進めながら、鉄道延伸や新たな交通システムも長期的に研究する。

# 防災士資格取得に補助制度を

## 町長 支援のあり方を研究していく

**問** 10年、20年先の交通ビジョンを策定する考えは。

**答** 人口動態や土地利用、新たな交通システムなどを総合的に検討する必要がある。直ちに策定することは難しいが、将来の交通体系を継続的に研究・検討する。

**問** 町の防災士資格取得者数と活動状況は。

**答** **町長** 8年7月末現在52名。平常時は防災訓練の指導・支援、災害時は避難誘導や避難所運営などを行っている。

**問** 自主防災組織や自治会等での配置・育成をどう考えるか。

**答** 現在、防災士の活用は行っていない。今後、活動実態を把握し、活用方法や自主防災組織との連携を検討する。

**問** 資格取得費用の補助制度を創設する考えはないか。

**答** 他自治体の制度や効果、財政負担等を調査し、本町に適した支援のあり方を研究する。

# 計画的な避難所機能強化を

## 町長 課題を整理し可能性を探る

**問** 学校体育館を避難所としてどう位置付けているか。

**答** **町長** 災害時に地域住民の生命と生活を支える重要な拠点であり、多くの避難者を受け入れる中核的な避難所と位置付けている。

**問** 体育館の空調設備を避難所機能強化として整備する必要性をどう認識しているか。

**答** 国においても、学校施設の防災機能強化の一環として体育館への空調設備整備を重点的に推進している。空調設備は教育環境だけでなく、災害時に避難者の命と健康を守るための重要な防災設備と認識している。

**問** 停電時にも避難所機能を維持できる設備整備を検討しているか。

**答** 具体的な整備方針は未定だが、重要な課題であると認識をしている。停電時の対応や費用対効果を含め検証する。

**問** 避難所機能強化計画を策定し、空調設備整備等の環境改善を計画的に進める考えは。

**答** 空調、非常用電源、トイレ、通信環境など、指定避難所の現状と課題を整理し、総合的な視点から整備の可能性を探っていく。



有事に備えた環境改善を

# 表浜から鼻節神社への散策道は

## 町長　厳しい規制がある



遠藤喜二（えんどうよしじ）

**問**　鼻節神社は約二千四百年の歴史がある。逍遥のまちづくりの一環として、表浜側から鼻節神社への散策道を造れないか。

**答**　**町長**　松島景観条例が定められており、厳しい規制がある。

**問**　表浜でも、土器作りや塩づくりなど、子ども向けの体験学習ができないか。

**答**　古代生活の痕跡が残る遺跡のため、当該地での施設整備は難しい。



表浜

# 震災時の堆積物撤去を

## 町長　現地を確認し、対応を協議する

**問**　東日本大震災時のワイヤー入りロープや、複層ガラスのサッシが半分埋まったままで、掘り起こせない。撤去に向けてどう対応するか。

**答**　**町長**　堆積物の撤去処理は地権者の方から町民生活課に相談いただいて対応を協議したい。

**答**　**建設課長**　現地確認した。もう一度確認し対処したい。

**問**　大雨時、鼻節神社方面から流れる雨水などが、道路下の私有地に流れ込む。集水桝を設けて対応できないか。

**答**　現地を確認した。地権者と一緒に状況を確認し判断したい。

**問**　鼻節神社へ向かう山ノ神地内の道路右側には、ガードのない急な法面がある。雨や雪に転落する危険があるため、安全策を講じられないか。

**答**　アスガードなど慎重に考える。



大雨時の山ノ神

# 議員定数は１４人を維持
# 報酬は約10％増額へ
## ～議会としての考え方を決議～

議会では、これまで議員定数や議員報酬のあり方について、議会機能や議員の担い手確保、財政負担などの観点から検討を重ねてきました。８月に示された特別職給料等審議会の答申を受け、改めて全議員で協議した結果、多数意思により議員報酬はおおむね10％増額、議員定数は現行の14人を維持、在勤地における費用弁償は現行制度を維持しながら検証することなどを盛り込んだ決議を行いました。

## なぜ改めて見直したの？

**①これまでの議会案**
報酬「月額５万円増」＋定数「14人→12人」
議会費全体の財政負担との均衡も考慮して一体的に検討

↓

**②８月４日　審議会答申**
報酬「おおむね10%増」定数「14人→12人」
費用弁償「廃止」
※定数削減と費用弁償廃止を報酬増額の前提として提示

↓

**③議会で改めて検証**
報酬・定数・費用弁償は関連する一方、それぞれ制度の目的や性格が異なることから、個別に検証した上で議会として判断

↓

**④今回の決議**
報酬「おおむね10%増額」定数「14人を維持」
費用弁償「現行制度を維持しながら検証」

## ここがポイント

～なぜ定数は14人を維持？～

決議とは、議会の意思を議決で示すものです。これまでの「２人削減案」は、前回（令和５年度）の答申を踏まえ、報酬月額５万円増額と定数２人削減を一体で考え、議会費全体の負担も考慮した案でした。審議会から議会案とは異なる答申が示されたため、定数を再検証しました。住民代表や行政監視・政策形成、員会活動、地域の声、災害時の対応、担い手確保などを考慮し、現時点で削減する十分な根拠はないと判断しました。決議で、現任期中は議員定数を削減せず、**１４人を維持すると最終決定**しました。報酬の増額は決議だけでは実施されません。議員報酬は経常経費という性質上、特定の財源の確保や既存事業・議会活動費の削減を増額の前提とはしません。今後、決議に基づき、具体的な報酬額や施行時期、必要な予算措置を執行部と調整し、条例改正に向けた協議を進めます。

## 決議した10項目
～決議では、こんなことを決めました～

❶**議員報酬**
現行額からおおむね10％増額

❷**議員定数**
現行の14人を維持

❸**定数の継続的な検証**
将来の人数を固定せず、人口動態や議会機能などを踏まえて検証

❹**議員の担い手確保**
幅広い世代や多様な立場の町民が議員を目指せる環境を重視

❺**在勤地の費用弁償**
当面は現行制度を維持し、現任期中に一定の結論を得るよう検証

❻**定期的な検証**
報酬・定数・費用弁償をおおむね４年ごとに検証

❼**町にも定期的な見直しを要請**
町長・副町長・教育長の給料等についても、おおむね４年を目安に検証

❽**議会と審議会の役割を検証**
それぞれの役割分担や所掌範囲による今後の見直し手続きのあり方を整理

❾**審議会答申を尊重した上で議会が判断**
答申全体を重要な判断材料とし、最終的には議会が責任を持って判断

❿**町民への説明**
検討経過や判断理由、今後の検証結果を分かりやすく公表

## 教育民生常任委員会

～学校施設の調査を実施～

# あの調査どうなった!?





議会だより166号の続報

7年6月の現地調査後、意見交換や補正予算を経て行われた修繕整備の状況を確かめるため、9月17日に全5校の追跡および新たな問題を調査しました。

**[主な調査結果・対応状況]**

### 1. 設備・読書環境の改善（亦楽小学校）

◆給食設備の適正化

昇降口の牛乳保冷庫や廊下の主食置き場を、衛生面に配慮した専用部屋へ移設。

◆図書館の校舎内移設

プレハブ設置だった図書館を校舎内（職員室下）へ移設決定。直射日光や西日を避けた良好な読書環境の整備。

### 2. 安全対策の強化（全小中学校）

◆体育館へのAED設置完了

児童生徒の安全確保のほか、夜間の地域開放時における利用者の急病や緊急事態に備え、全校の体育館への配備を完了。

### 3. 建物・衛生面の課題

◆雨漏り対策

多くの指摘箇所で改善が見られたものの、原因不明で継続している場所や天井補修が必要な箇所があり、引き続き重点的に注視していきます。

◆鳥獣被害対策

ハト被害：子ども議会で挙がった現場を調査。飛来は止まったものの羽やフンが残るため、町に清掃を含め求めていきます。

害獣発生：現場調査の際、コウモリやネズミ等の発生および被害の報告が寄せられました。児童生徒の安心・安全な学習環境を確保するため、町に対し早期解決に向けた取り組みを求めていきます。

**今後も現場の調査研究を継続し、改善状況を随時報告いたします！**



牛乳保冷庫



図書館



体育館用ＡＥＤ



ハトが飛来するベランダ

## 総務産業常任委員会

# ほのぼの農園をより利用しやすく

総務産業常任委員会では「海遊ほのぼの農園の管理運営について」調査しました。現地視察や担当課への聞き取りを通して、身近な場所で農作物を育てられる農園として、町民に利用されていることを確認しました。一方、空き区画や利用期間の案内、年度途中からの利用、草刈りなど維持管理の改善点を指摘しました。

委員会では、利用者が情報を分かりやすく得られるよう周知するとともに、空き区画を有効に活用するなど、より利用しやすい運営を検討することを求めました。町民が利用しやすい農園となるよう、今後の改善に期待し、調査を終結しました。



適切な管理の徹底を

宮城東部衛生処理組合議会

## 塩竈市の将来加入に向け協定締結

宮城東部衛生処理組合と塩竈市は、7月13日に将来加入に関する協定を締結し、同27日に締結式を行いました。組合は現在、七ヶ浜町、多賀城市、利府町、松島町の1市3町で、ごみ処理を共同で行っています。

**■協定までの経過**

5年12月、塩竈市から最終処分場の今後の対応を巡る協議の依頼がありました。組合は6年11月、埋立処分だけの加入は認めず、ごみ処理業務全般を対象とすることなどの条件を提示し、7年9月末までに加入の意思を回答するよう求めました。同月に正式な加入申入れを受け、組合は10月の正副管理者会議で将来加入に向けた協議を進めることを承認。構成市町の主管課長が加入条件を検討し、8年3月の正副管理者会議で協定案を承認しました。同月、組合から協定案を塩竈市に示し、6月に同市から同意する旨の文書が提出され、7月13日の正副管理者会議で協定を承認・締結しました。

**■今回の協定で定めたこと**

加入時期は、組合の全施設を塩竈市の加入を想定した規模に更新し、供用を始める23年度を目途としています。塩竈市は加入まで既存施設の延命化を図り、ごみ処理を続けることが難しくなった場合は、組合への業務委託を協議します。

塩竈市は8年度から、次期施設の候補地選定や基本構想の策定、設計などに必要な費用を負担します。協定には、塩竈市が加入の意向を取りやめた場合の損害賠償金や違約金も定められています。

今回の協定で正式な加入が決まったわけではありません。具体的な加入条件や時期、必要な議会手続き等は、今後協議していきます。

宮城県後期高齢者医療広域連合議会

## 75歳からの医療を支える

県内全35市町村が加入する「広域連合」では、各市町村から選出された代表議員が集まり、広域的な医療・保健事務の審議を行っています。また、生活習慣病の発症・重症化予防などを目的とした「第3期データヘルス計画」に基づき各種事業を進めています。健康診査などの取り組みに関して、当議会選出の佐藤直美議員が一般質問しました。

**① 健康診査・歯科健診の受診率向上**

問：生活習慣病予防や医療費適正化に向け、健診・歯科健診の受診率向上や対象年齢拡大の取り組みは?

答：無料受診券の送付やポスター等により個別に受診を呼びかけている。歯科健診の対象拡大は、財源や実施体制の課題を踏まえ、国や関係機関と協議・検討を進める。

**② 市町村向け助成事業の活用促進**

問：七ヶ浜町をはじめ各自治体が地域独自の健康増進施策を展開できるよう、補助金の活用促進や分析は?

答：8年度は17市町村・24事業の申請を受けている。事例共有や説明会等を通じ、より多くの市町村で有効活用できるよう支援を行っている。




町民の皆さんへ

皆さんの健康のために、健康診査・歯科健診を受けましょう!

健康診査

年1回の「後期高齢者健診」は早期発見・健康維持につながります。

歯科検診

前年度に75歳に到達された皆さんに受診票をお送りしています。歯や口腔衛生の状態、歯周病、かみ合わせに加え、口腔機能や飲み込み(嚥下)機能の検査を実施しています。

# 音色がつなぐ復興への想い



復興ピアノ「ローラ」とともに震災伝承活動を続ける櫻井由美（さくらい ゆみ）さんに、復興ピアノへの思いや未来への願いを伺いました。

**ご自身と復興ピアノについてご紹介をお願いします。**

七ヶ浜町で40年以上ピアノ教室を続けています。震災で津波被害を受けたグランドピアノ「ローラ」は、多くの方々の支援によって修復されました。現在は、震災の記憶や復興への思いを音色で伝える活動をしています。

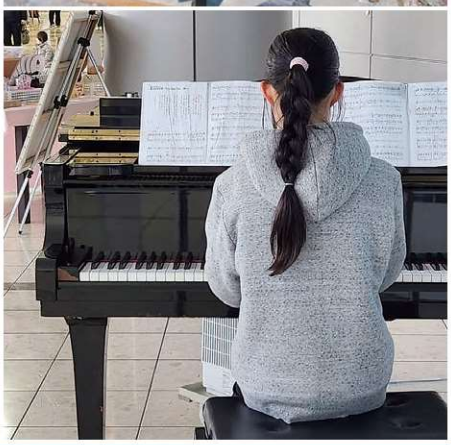
**震災当日、ピアノやご自宅はどのような状況でしたか。**

家族は全員無事でしたが、家は津波で流されました。ピアノも家とともに流され、海水をかぶりました。形は残っていたものの、塩害で金属部分などが錆び、修復は難しいと言われました。

**修復されることになったきっかけを教えてください。**

震災から約１か月後、七ヶ浜を訪れたシンガーの Metis（メティス） さんがピアノを見つけ、「修復させてほしい」と声を掛けてくださいました。半ば諦めていたので、本当にありがたかったです。





**再び音が鳴った瞬間は、どのようなお気持ちでしたか。**

修復から約半年後、東京で初めてその音色を聴きました。家にあった頃よりも美しい音色に感動し、多くの方々の思いが詰まった特別なピアノになったと感じました。

**現在の活動には、どのような思いを込めていますか。**

このピアノは私一人のものではありません。多くの方の支えで復活したからこそ、たくさんの方に弾いていただき、震災や復興への思いを受け取ってほしいと思っています。

**復興ピアノを今後どのように活用していきたいですか。**

「あのピアノを弾きに七ヶ浜へ行こう」と思ってもらえる存在になってほしいです。また、音楽を通して子どもたちが震災を身近に感じ、未来へ伝えていくきっかけになればうれしいです。

**今後取り組みたいことや、町への思いをお聞かせください。**

復興ピアノの音色とともに、震災の記憶や教訓を未来へ伝えられる小さな拠点を七ヶ浜につくりたいと考えています。また、ライフジャケットの普及活動や防災講習会などを継続し、子どもたちから大人まで、防災について学べる機会を増やしていきたいと思っています。復興ピアノを通して多くの方が七ヶ浜を訪れ、震災の記憶や命を守る大切さを未来へ伝えていける活動を続けていきたいです。

## 〈議会を傍聴しませんか〉

どなたでも自由に、見たり聴いたりできます。

**－12月会議は12月2日開会予定です－**

詳しくは議会事務局（℡357-7435）
または、町ホームページ
「七ヶ浜町議会情報」をご覧ください。
https://www.shichigahama.com

## 〈今号の表紙〉



今回で2回目となった「子ども議会」。今年も、子どもたちがフレッシュで頼もしい声をたくさん届けてくれました。

各学校の校長先生や担当の先生方、保護者の皆さんの温かいご協力により、無事開催できました。心より感謝申し上げます。

## 編集後記

今年度も気が付けば、すでに後半に入りあっという間でしたね。今年度は全国的に地震や水害、クマの被害が多く、世界的にも情勢不安や天災が相次ぎ、心を痛められている方も多いかと思います。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。私たち一人一人にできることは小さなことかもしれませんが「ゴミはポイ捨てせずゴミ箱へ」「家庭ゴミの分別とリサイクル」など、身近な環境保護から取り組んでいきたいですね。

９年度に向けて悔いが残らぬよう、やり残したことに自分のペースで取り組んでまいりましょう。

佐藤　直美

●発行／宮城県七ヶ浜町議会
●編集／広報広聴常任委員会

広報広聴常任委員会
委員長　鈴木　篤
副委員長　佐藤　直美
委員　鈴木　洋市
佐藤　信輝
鈴木　博
鈴木　恵子
仁田　秀和

発行責任者
議長　安倍　敏彦

〒985-8577 宮城県七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
TEL022-357-7435 FAX022-357-5744

七ヶ浜町議会Instagram公式アカウント
←本会議や委員会などの活動情報を発信しています。
Please follow us!

この議会だよりは6700部印刷し、
一部当たりの印刷費用は36.96円です。